

新幹線プレス

2012年11月5日 No.83

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

原発ゼロに向けてさらに闘いを強化しよう!!

大飯原発に活断層の可能性!!

日本で唯一稼働している大飯原発（関西電力）の敷地内を走る「F-6 断層（破碎帯）」が活断層かどうかを原子力委員会の調査チームが 11 月 2 日に現地調査を終えました。チームは 4 課に都内で会合を開き、F-6 断層が活断層であるとの見方を強めたが、結論は 7 日以降の会議に持ち越しとなりました。



F-6 断層が活断層であった場合は、大飯原発の即時停止どころか、廃炉に向けての準備が必要になります。

さらに、活断層の疑いがあるのは、大飯原発にとどまらず、敦賀原発、浜岡原発、六ヶ所再処理施設など多くの原発関連施設に及びます。

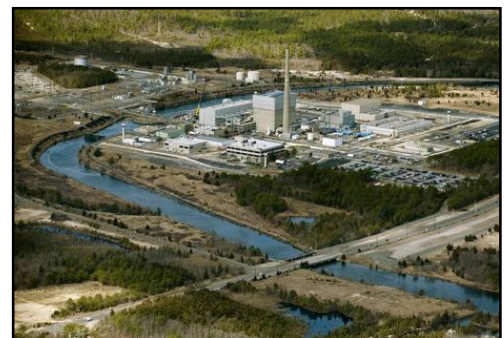
日本を安全な国にするためには、私たちの原発ゼロに向けた闘いの強化が求められることになります。

「日本の原発ゼロ容認できぬ」とアーミテージ!! しかしアメリカでもハリケーンで原発が停止!!

アメリカによる日本統治の政策提言報告として知られる「アーミテージレポート」でその名を馳せた元アメリカ国務副長官リチャード・アーミテージが 10 月 26 日に都内で開催されたシンポジウムで、野田政権が打ち出している「2030 年代に原発稼働ゼロを目指す方針」について「受け入れがたい」と強調しました。

しかし、10 月 30 日にはアメリカ東海岸を襲った大型ハリケーン「サンディ」の影響でニュージャージー州オイスタークリーク原発、ニューヨーク州インディアンポイント原発、ニュージャージー州セーレム原発など少なくとも三カ所の原発が緊急停止や手動停止しています。改めて、原発が自然災害に弱いことが暴露されたこととなります。

ヨーロッパではすでに国民の声によって既にドイツ、スイス、イタリアは脱原発に動き、リトアニアでは日立製作所が受注した原発建設に国民投票で 6 割を超える国民が NO を突き付けています。



ニュージャージー州オイスタークリーク原発